

学ぶことは生きること

～病気を抱える子どもたちの支援ネットワークづくり～

参加無料 / 定員 200 名

日時：2020年2月11日(祝・火) 13:30～16:00 (13時受付開始)

会場：岡山大学鹿田キャンパス Junko Fukutake Hall

対象：教育・医療・福祉関係者、一般市民、当事者家族、学生など

【取り組み紹介・トークセッション】

「病気を抱える子どもたちにも学習できる環境は必要か」

- ・ NPO 法人チャイルド・ケモ・ハウス 自立支援員 川井 美早紀 氏
(神戸で小児がんをはじめとした医療的ケアが必要な子ども・若年成人と家族のための施設を運営)
- ・ 認定 NPO 法人ラ・ファミリエ 理事・ジョブサロンマネジャー 西 朋子 氏
(愛媛で患児家族滞在施設の運営や相談事業・ピアカウンセリング・きょうだい支援等を行う)
- ・ 認定 NPO 法人ポケットサポート
代表理事 三好 祐也 / エバンジェリスト 下川 紘生
(岡山市を中心に小児がんなど慢性疾病を抱える子どもたちの学習・復学・自立支援活動を行う)

主 催：認定特定非営利活動法人ポケットサポート (MDRT Foundation-Japan 2019 年度 QOLG 受賞団体)
岡山大学大学院保健学研究科

後 援：岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、岡山県医師会、
岡山県看護協会、岡山県薬剤師会、プルデンシャル生命保険株式会社岡山支社

問合せ先：認定特定非営利活動法人ポケットサポート事務局 (担当：奥田)

電話：090-7590-0571 (代表)

メール：info@pokesapo.com

WEB：https://www.pokesapo.com



すべての子どもが等しく学習や遊びができる 「子ども時間」を大切にしていきたい

病気を抱える子どもたちにとって、どのような支援が地域や学校現場・医療機関に求められているのか。ポケットサポートが主に小～高校生を対象に行っている学習・復学支援は子どもたちの成長発達において学習保障だけでなく心理的ケア、体験や経験の不足を補うなど重要な部分を担っています。

すべての子どもたちが将来に希望を持ち、自分らしく安心して暮らせる社会にしていきたいためにトークセッション形式で3団体の取り組みや事例から考えていきたいと思えます。

当日タイムスケジュール

13:30～13:35

オープニング・開会挨拶

認定 NPO 法人ポケットサポート

13:35～14:40

「各団体の取り組み紹介」(各 20 分)

- ・ NPO 法人チャイルド・ケモ・ハウス
- ・ 認定 NPO 法人ラ・ファミリエ
- ・ 認定 NPO 法人ポケットサポート

休憩 (20 分)

15:00～15:50

トークセッション

「病気を抱える子どもたちにも

学習できる環境は必要か」

- ・ NPO 法人チャイルド・ケモ・ハウス
自立支援員 川井 美早紀 氏
- ・ 認定 NPO 法人ラ・ファミリエ
理事・ジョブサロンマネージャー 西 朋子 氏
- ・ 認定 NPO 法人ポケットサポート
代表理事 三好 祐也
エバンジェリスト 下川 紘生

15:50～16:00

閉会挨拶

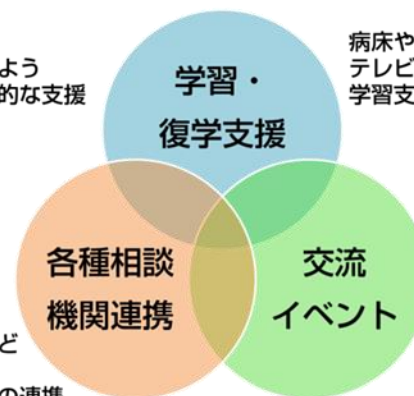
※当日の進行により多少前後する場合がございます。予めご了承ください。

ポケットサポートってどんな団体？

ポケットサポートでは病気を抱える子どもとご家族が、笑顔で安心して暮らせる地域や社会の実現を目指して、学習復学支援、相互交流支援、機関連携・啓発活動等に取り組んでいます。

スムーズに
復学できるよう
助言や継続的な支援

病床や自宅への家庭訪問
テレビ電話を使った
学習支援事業



心のケア、
進学相談など
個別相談と
関係機関との連携

同じ思い・
経験をした
子どもたちや
家族同士が交流



代表理事
三好 祐也

5歳で慢性のネフローゼ症候群を発症義務教育のほとんどを病院で過ごす岡山大学大学院保健学研究科修士課程修了病気の子どもたちの教育支援について研究自身の経験を通じて10年以上にわたり、病弱児の学習・復学などの自立支援と環境理解のための講演活動を行う。



申込方法・問い合わせ

申込メールフォームもしくは電話にて事前の参加申込をお願いします。

WEB

<https://www.pokesapo.com/m19>

QRコードから申込ページへ Go!

ポケットサポート

電話

090-7590-0571 (事務局/不在時は留守電へ)

